

秋も深まり、木々もきれいに色づいています。時には外の景色も眺めて気分転換を！

センター試験まで
あと52日

◎4・5年生は11月模試の結果を確認！

4年生は23日（月）から、5年生は27日（金）から11月模試の結果が模試デジタルで見られます。復習とともに1月模試の目標を定めて準備を始めましょう。

◎入試動向 ～第1回駿台・ベネッセマーク模試より～

★以下の数値は、前年度の志望者数を「100%」とした時の指数

国公立大 全国	学部系統	私立大	
		全国	首都圏
102	全体	105	105
107	人文科学	105	107
108	語学	107	113
113	法学	110	111
109	経済・経営・商学	110	111
128	社会学	101	103
113	国際関係学	113	106
98	教員養成・教育学	102	100
102	生活科学	100	101
108	芸術学	101	100
101	総合科学	110	113
101	保健衛生学	104	105
99	医学	107	107
96	歯学	96	98
97	薬学	98	99
97	理学	98	97
100	工学	102	103
101	農・水産学	101	100

今年はこの学部系統が
国公立大・私立大とも
に増加が著しい

2015年9月実施 第1回
ベネッセ・駿台マーク模試
総受験者：424,384人
現役生：381,886人
既卒生：42,498人

◆文系学部の人気が復活？

理系学部の志望者数は伸び止まり、ここ数年変わらず。

文系学部の人気復活。成績上位層を中心に強気の志望状況が見られる。しかし、5年前までのピーク時からすれば文系はまだまだ志望者は少なく、広き門と言える。

→「弱気は最大の敵！」と思い、併願対策をしっかりと立てた上で志望を買おう。

◎あなたは大学のどこを見る？

あなたは何を基準に大学を選びますか？ やりたいことができるから、知名度があるから、雰囲気が好きだからなど、大学を選ぶ基準は人それぞれ。受験校を決める6年生はもちろん、明確な理由とともに志望校決定が求められる5年生も、大学を見る目を広げて考えましょう。

◆大学通信アンケート結果

面倒見が良い	就職に力を入れている	教育力が高い	入学後に生徒を伸ばす
1 ◎金沢工業大(317)	1 ◎明治大(396)	1 △東京大(581)	1 △東北大(225)
2 ◎武蔵大(136)	2 ◎金沢工業大(193)	2 △京都大(347)	2 △東京大(161)
3 △東北大(134)	3 ◎立命館大(94)	3 △東北大(256)	3 ◎東京理科大(136)
4 ◇国際教養大(110)	4 ◎法政大(88)	4 ◇国際教養大(196)	4 ◇国際教養大(126)
5 ◎明治大(106)	5 ◎日本大(86)	5 △大阪大(132)	5 ◎金沢工業大(105)
6 ◎立命館大(80)	6 ◎産業能率大(82)	6 ◎東京理科大(127)	6 ◎国際基督教大(77)
7 ◎昭和女子大(54)	7 ◎近畿大(69)	7 ◎国際基督教大(115)	7 △京都大(72)
8 ◎国際基督教大(51)	8 ◎中央大(66)	8 ◎慶應義塾大(112)	8 △大阪大(64)
9 ◎高知工科大(50)	9 ◎早稲田大(64)	9 △東京工業大(87)	9 ◎慶應義塾大(55)
◎産業能率大(50)	10 ◎慶應義塾大(59)	10 ◎早稲田大(81)	10 ◎早稲田大(54)

面倒見の良さ…きめ細かい学習支援と生活管理で定評があり、11年連続で選ばれた金沢工業大。

「ゼミの武蔵」として知られる武蔵大は少人数教育を中心に学生を伸ばす。

就職支援…6年連続で明治大。これがここ数年続く志願者増加にも繋がっている。

教育力の高さ…高い水準の授業、最先端の研究、学生の質の高さなどから国立大の強さが際立つ。

入学後の伸び…特に東京理科大は伝統的に進級が難しいとの意見から学生を伸ばすとの評価。

大規模大学が多い中「面倒見」「就職支援」「入学後の伸び」「教育力」など、多角的に評価されているのが産業能率大です。最近話題のアクティブラーニングの草分けとしても知られています。マーケティング学科はMARCHとの併願者も増えてきています。経営学を学びたい人は、調べてみてはいかがでしょうか。

◆2015年度一般入試アンケートより

	経営学部		情報マネジメント学部
	マーケティング学科	現代ビジネス学科	現代マネジメント学科
1	東洋大(経営)	神奈川大(経済)	専修大(経営)
2	青山学院大(経営)	亜細亜大(経営)	駒澤大(経営)
3	法政大(経営)	東京経済大(経営)	神奈川大(経済)
4	日本大(商)	東洋大(経営)	関東学院大(経済)
5	駒澤大(経営)	駒澤大(経営)	日本大(商)
6	専修大(商)	駒澤大(経済)	帝京大(経済)
7	東京経済大(経営)	東洋大(経済)	専修大(商)
8	立教大(経営)	日本大(商)	拓殖大(商)
9	成城大(経済)	専修大(経営)	駒澤大(経済)
10	専修大(経営)	拓殖大(商)	桜美林大(ビジネスM)

◎主要私大の入試動向 ～第1回駿台・ベネッセマーク模試より～ ※国公立は次号で

大学名	2015年	昨年比	動向とピックアップ
早稲田大	51192	4900	8年連続志願者数の微減が続いているが、複数の学部で志望者数が前年を上回る。15年度入試で前年度志願者を下回った政治経済は前年比121と志願者が増加。しかし、C判定以下のチャレンジ層が増加している。
慶応大	24594	3322	昨年度の入試日程変更により、難関国立との併願、慶応大内での学部間併願が強まったことが影響してか全体で志望者増加。理工・医・薬は微増だがそれ以外の学部は大幅増加。経済・商は、C判定以上の志望者が増加し、激戦りとなることが予想される。
上智大	16594	272	大学全体で志望者数はやや増加。しかしTEAP(特に4技能)方式の志望者数は減少。TEAP方式は一般入試と入試問題の傾向が異なるため注意が必要(文章理解力・論理的思考力など、より総合的な力を問う問題で、400字程度の記述も含む)。総合グロのほうが立教大・異文化よりも高い偏差値の志望者が集まっており、C判定付近の志望者が多い。
東京理科大	22047	-242	経営は神楽坂キャンパス移転を背景にC判定以上も含め志望者数が大幅増加し、難易度が上がる可能性がある。新設のビジネスエコンミクス学科は数学が必要なので注意。16年度より工・経営工が情報工と学科改組し葛飾キャンパスに移転し志望者数が増加。薬は数学Ⅲまで出題範囲となった影響か志望者数が大幅減少。
明治大	57664	5179	16年度入試より文(セ)は理科が基礎科目まで選択可能になる。負担減の影響からか志望者数が前年を上回る。15年度入試で実質2倍となった反動か、政治経済で志望者増加が顕著で、立教大・経済と日本大・経済との併願関係が強く、C判定以上の増加し、やや厳しくなる予想。4年目の総合数理はやや減少。
青山学院大	32196	3989	15年度入試より全学部日程の試験会場が追加され、さらに名古屋・福岡が追加され、他県からの志望者が増加。新設2年目の地球社会はセンター方式追加で志望者が増加。総合文化・総合文化政策(個B)は出願資格として外部検定試験が求められるため、注意が必要。
立教大	32798	571	15年度入試で実質倍率11倍台となった異文化は前年並。16年度より理(セ・4教科型)で国語が現代文のみに変更。理・生命理(セ・3教科型・4教科型)は地学選択不可になるため志望者減。16年度より外部検定試験を課すグローバル方式は同日の全学部(3教科型)と入試問題が共通(日本史・世界史は小問が多く速さと正確さが求められる)。
中央大	29180	4985	センター方式を実施する法は志望者が大幅に増加し、C判定以上も増えているため厳しい入試が予想される。法は英語の偏差値「67」が目安。複数学部で志望者が増加しているが、経済・文・商ではチャレンジ層が多い。明治大・駒澤大・日本大との併願志望者の増加。
法政大	37722	1996	グローバルでT日程新規実施のため、全学部が2科目で併願可能。15年度入試で実質倍率の高さが目立ったキャリアは今度も志望者数が増加。13年度入試まで10倍を上回る競争が続いていたグローバルは、ここ2年は6倍台以下だがT日程受験が可能となり、志望者数が増加。
日本大	55435	1525	全体で志望者数は増加。学内併願が強まっていることに加え、法・経済は駒澤大との併願関係が強まっている。16年度より新設される危機管理・スポーツ科学も多くの志望者を集めている。スポーツ科学は、早稲田大・法政大・順天堂大・東海大の併願先になる可能性が大きい。
東洋大	34241	1672	文・法・経済で志望者増加。16年度入試より複数学部で外部検定試験を利用する入試方式など、受験方式を新規実施し受験機会が増えるため、多様な受験方式も視野に入れたい。

駒澤大	19841	2503	多くの学部で志望者数が前年を上回り、特に文・法では明治大や法政大との併願関係が強まっており、偏差値「50台後半」以上の学力層での志望者増加が顕著。
専修大	14030	1540	7学部で定員増加があり、志望者数が増加。文・法・経済・商で志望者数増加が目立つ。駒澤大・神奈川大との併願志望者が増加。
大東文化大	8018	-378	15年度入試で実質倍率1倍台の外国語・国際関係・環境創造などで志望者数が減少。16年度より経営は2学科から経営学科1学科に改編
東海大	18692	-169	15年度入試で実質倍率1倍台前半の経営と国際文化などで志望者数が減少。医は一般入試の定員が10名減で英語の配点が100点に。
亜細亜大	7050	915	16年度より都市創造を新設。定員75名に対し志望者228名を集め、経済、経営、国際関係など学内併願が目立つ。全学部統一入試(C方式から名称変更)を中期にさいたま・千葉・横浜・東京と4会場で実施。
帝京大	15795	-1635	文系学部の多くで従来英語を受験せず2教科受験が可能だったが、16年度入試より英語が必須で3教科受験となる。科目負担の影響か複数の学部で志望者数が前年を下回る。
国士舘大	7741	-27	政治経済で志望者数が増加している。
國學院大	9929	1110	文・法・経済で志望者数が増加。学部内併願と日本大・東洋大との併願関係が強い。募集人員が増える人間開発は前年並。
学習院大	10080	2185	16年度新設の国際社会は募集人員100名に対し1247名と志望者が集まっている。国際社会は法・経済の過去問で受験対策を。
成蹊大	11587	488	法・経済で志望者が増加。16年度入試より文でP方式(国公立大併願方式)が新規実施。
成城大	7663	787	一般A方式の試験日が昨年比べ、1週間早期化。経済学部では青山学院大・経営との併願が強まり、入試日がぶつかる明治学院大・経営との併願関係が弱まっている。
武蔵大	5012	492	15年度入試において募集単位において実質倍率10倍を超える人気が見られた経済は今年も増加し、厳しい入試が予想される。
明治学院大	14704	875	文・経済での志望者数増加。国際・国際キャリアは16年度より全学部日程を実施するが、大学内では難易が最も高く、C判定は「60」が目安。
東京女子大	3825	-158	やや志望者数が減少。
日本女子大	6373	331	ほぼ前年並。人間社会がやや志望者数が増加。
津田塾大	1921	-185	やや志望者数が減少。
工学院大	6425	249	建築は高い人気が続く。情報はシステム数理、情報通信工を新設。また学部総合入試が新たに導入される。この入試で入学した生徒は入学部内での学びを通じて学科選択をする。
芝浦工大	14571	547	3学部とも大きな変動なし。16年度入試よりセンター利用入試で英語リスニングが「選択」から「必須」になる。
東京農大	11233	-455	地球環境で志望者がやや増加。その他は前年並。
東京電機大	8072	-92	情報環境は平成30年度以降、千住キャンパスに移転予定。情報環境・未来科学は志望者がやや増加。
東京都市大	4382	-426	全体的に志望者が減少している。
東京工科大	5655	513	工・医療保健で志望者数がやや増加。その他は前年並。
千葉工大	6086	1545	工を創造工、先進工・工の3学部にも再編。先進工は志望者数減少。
北里大	11932	543	医・看護は志望者がやや増加。看護は理科を基礎科目で受験できるが、専門科目受験者が大半を占める。その他の学部は前年並。しかし、ノーベル賞の影響で志望者が増加することも予想される。